

## 2-6 里山林健全化事業

### 事業目的

昔から人間が循環利用することによって維持してきた広葉樹林、いわゆる「里山林」をナラ枯れ被害から保全するため、被害木の駆除を支援します。また、三陸沿岸などの景勝地の松林において、松くい虫被害木のくん蒸処理材等が景観を損ねている状況が見られることから、これら被害材の有効活用を支援することで修景整備を図ります。

### 事業効果

CO <sub>2</sub> 年削減効果	112 t-CO <sub>2</sub>
ナラ枯れ駆除量	1,000m <sup>3</sup>

### 事業内容

平成29年度事業費 23,140千円

#### ● ナラ枯れ被害木の駆除

ナラ枯れ被害木の駆除を図るため、必要な経費助成を行い、被害の拡大防止、被害量の軽減を進めます。

事業量：1,000m<sup>3</sup>(伐倒駆除), 500本(立木くん蒸) 事業費：19,000千円

補助額：定額(標準単価以内)もしくは1/2以内 実施主体：市町村

#### ● 里山林環境整備

くん蒸処理されて林内に集積されている松くい虫被害材等を搬出処理してバイオマス燃料等に活用(被害材活用)するために必要な経費助成を行い、景勝地での景観の向上を図ります。

事業量：260m<sup>3</sup> 事業費：4,140千円

補助額：定額(標準単価以内) 実施主体：市町村

### 現 状



ナラ枯れ被害の深刻化



被害材による景観の悪化

### 税導入後のイメージ



健全な里山林の維持保全



景勝地の修景整備